

資料 3

次年度の進め方

●第3次安芸高田市総合計画基本計画の評価・検証

- ・ 定量的整理では、既往統計調査・市民アンケート調査結果等を活用して整理
- ・ 定性的整理では、各部局へ進捗状況の報告依頼を行い、とりまとめを実施

【評価・検証の方針】

	定量的整理	定性的整理
基本構想	・ 将来像の実現に向けた目標指標のモニタリング	・ 目標指標と各施策の関連性の考察
基本計画	・ 政策目標別分野計画に位置付ける目標指標のモニタリング	・ 目標指標と各施策の関連性の考察 ・ 各施策の進捗状況の整理 ・ 横断的な政策手段の進捗状況の整理
重点プロジェクト	・ 各基本目標に位置付ける目標指標のモニタリング	・ 目標指標と各施策の関連性の考察 ・ 各施策の進捗状況の整理 ・ リーディングプロジェクトの進捗状況の整理

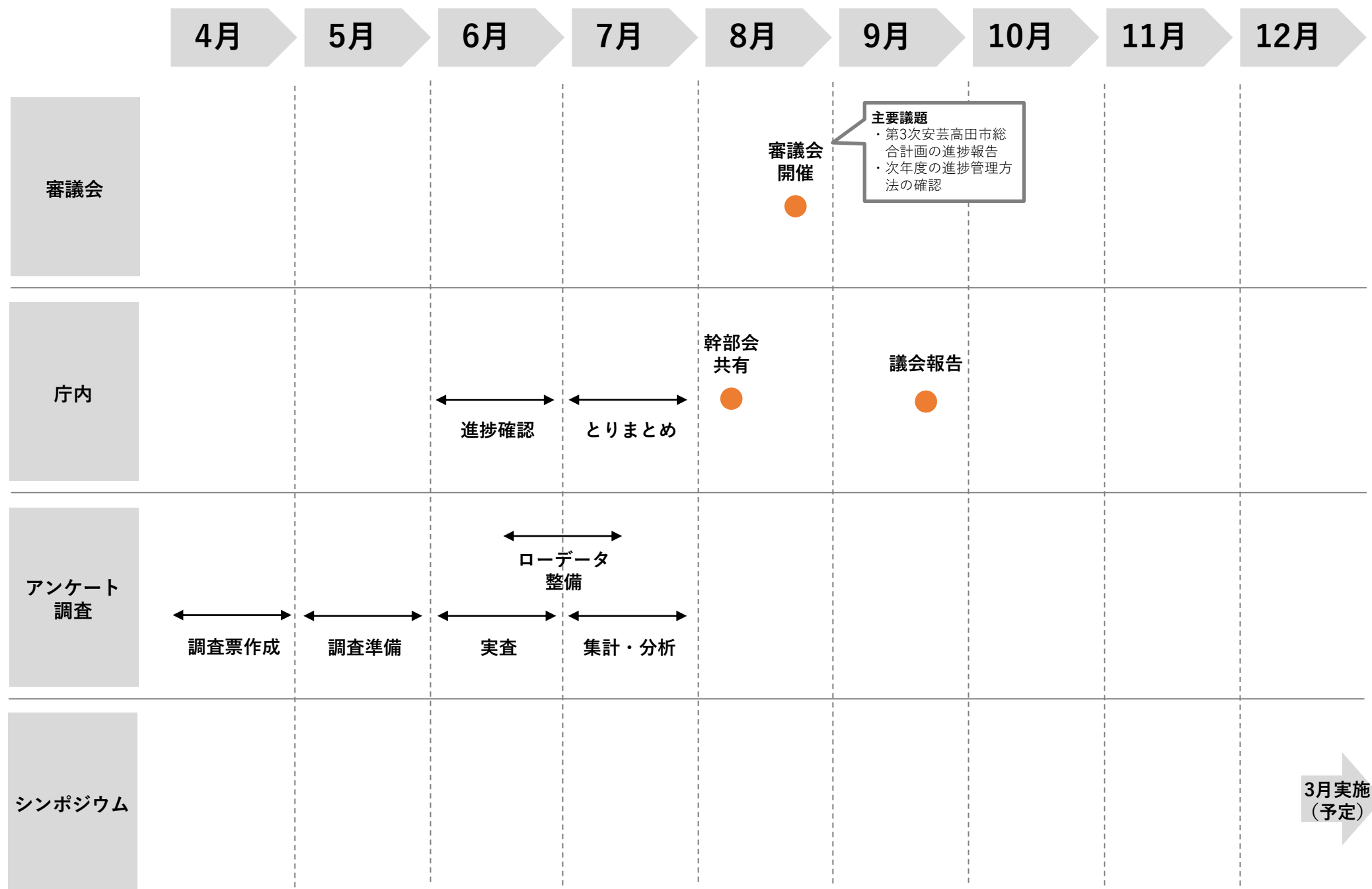
●第3次安芸高田市総合計画シンポジウムの開催

- ・ 開催の目的は、①第3次安芸高田市総合計画の市民に対する知名度・認知度の普及・促進、②みんなのチャレンジマップの報告・共有（行動⇒共有⇒共感・賞賛⇒新たな芽吹き of 循環を生む）等と位置づけ
- ・ 基本構想に位置付ける「将来像の実現に必要な3つの姿勢」に該当する施策として、定期的開催を実施

(参考) 将来像の実現に必要な3つの姿勢

市民の意見を踏まえて、市に関わる多様な人々の価値観を肯定的関心を持ってとらえ、合意形成を図り、行動することで次の展開に進み、それを周りの人と共有することで、魅力的で持続可能な地域社会が形成され続ける安芸高田市を目指します。

●次年度の進め方 (2) スケジュール



●次年度実施するアンケート調査 (1) 概要

- ・次年度実施するアンケート調査は、第3次安芸高田市総合計画策定プロセスで実施したアンケート調査票をベースとします。
- ・市民アンケート調査では、第3次安芸高田市総合計画策定のために設けていた設問は削除し、一部新規設問を追加します。
 - ⇒第3次安芸高田市総合計画に位置付ける目標指標の把握に係る設問【次頁参照】
 - ⇒第3次安芸高田市総合計画の認知度（基本構想・基本計画・リーディングプロジェクト等）
 - ⇒第3次安芸高田市総合計画の認知度が高い/低いの要因を分析するための設問（対話集会・シンポジウムへの参加等）
- ※第3次安芸高田市総合計画の普及・促進による効果の分析も実施（例：能動的なまちづくりへの参画状況等）

●次年度実施するアンケート調査の概要

	調査対象	調査方法	調査設問
市民アンケート調査	・市内に居住する18歳以上の方	・住民基本台帳から無作為抽出し、アンケート調査票を郵送・回収 ・調査票はWEB回答を推奨し、紙回答可 ※配布数は5,000部から1,000部に変更	・基本属性 ・幸福度・満足度 ・地域愛着 ・地域振興組織の参画状況 ・総合計画の認知度等
中学生アンケート調査	・市内の学校に通学する中学生	・中学校経由でWEBアンケート調査票を中学生に配布し、回収	・基本属性 ・今後の進路 ・幸福度・満足度 ・地域愛着 ・安芸高田市の将来
高校生アンケート調査	・市内の学校に通学する高校生 ・市外の学校に通学する高校生	●市内の高校に通学する高校生 ・高校経由でWEBアンケート調査票を高校生に配布し、回収 ●市外の高校に通学する高校生 ・住民基本台帳から対象を抽出し、WEBアンケート調査票を郵送・回収	
通勤者アンケート調査	・安芸高田市工業会の所属している企業の従業者（市内居住/市外居住）	・安芸高田市工業会に所属している企業にWEBアンケート調査票を配布し、従業員が回答	・基本属性 ・移住に対する関心の有無 ・移住関心層への意向 ・移住無関心層への意向 ・安芸高田市への関わり
外国人アンケート調査	・市内に居住する18歳以上の外国人	・住民基本台帳から対象を抽出し、WEBアンケート調査票を郵送・回収	・基本属性 ・安芸高田市の住みやすさ、愛着 ・安芸高田市に住む上での課題 ・安芸高田市への定住意向、理由

●目標指標の把握に係る設問の見直し

問 該当する番号を1つ選び○印をつけてください。

非常にあてはまる (1)

ある程度あてはまる (2)

どちらとも言えない (3)

あまりあてはまらない (4)

全くあてはまらない (5)

(旧) この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある

(新) この町内(集落)には、どんな人の意見でも受けとめる雰囲気がある

●目標指標の把握に係る設問の追加

問 該当する番号を1つ選び○印をつけてください。

非常にあてはまる (1)

ある程度あてはまる (2)

どちらとも言えない (3)

あまりあてはまらない (4)

全くあてはまらない (5)

・道の駅等の拠点施設では、観光客・交流人口で賑わっている